

## 更別村地域新エネルギービジョンの取組成果と今後の取組方向について

更別村では、「更別村地域新エネルギービジョン」（期間：平成21年度から令和2年度）を定め、環境問題やエネルギー問題に積極的に取り組み、更別村にとって有効な新エネルギーの活用を進めるとともに、二酸化炭素排出の削減目標（二酸化炭素排出削減目標：6.65%（2008年比較） 2,911t-co<sub>2</sub>（年））を具体的に定めてその実現に取り組んできたところです。

この度、このビジョン計画期間が満了したことから、これまでの主な取り組み成果を報告するとともに、今後の村のエネルギー・環境問題等への取組方向を定めましたのでお知らせします。

### ① 更別村地域新エネルギービジョンにおける主な取組実績

公共施設への太陽光発電システムの導入、住宅等への太陽光発電システム導入促進のための補助の実施、太陽光発電所の誘致など、太陽光を活用したエネルギーの創出に取り組んだほか、民間事業者によるバイオディーゼル燃料の給油ステーションの設置、一部公用車へのバイオディーゼル燃料の導入、観光の拠点となる簡易宿泊施設等に木質ペレットバイオマスボイラーを設置するなどバイオマス資源の活用促進に努めました。

<p>【平成22年】 太陽光エネルギー施設 設置調査</p>	<p>更別村の各公共施設（中央中学校・給食センター、上更別小学校、国保診療所、老人保健福祉センター、福祉の里総合センター、道の駅さらべつ、ふるさと館、更別幼稚園、役場庁舎・社会福祉センター、更別浄化センター、コミュニティプール）に太陽光発電システム又は太陽熱利用（ソーラーシステム）を設置した場合に必要な費用やその効果を検証し、効果等が高いと見込まれた施設に太陽光発電システムを導入。</p>
<p>【平成26年】 バイオディーゼル燃料 を活用した環境意識ポ トムアップ事業</p>	<p>南十勝新エネ推進コンソーシアムにより次のとおり役割分担をしてバイオディーゼル燃料の普及活動等を実施。</p> <p>(株)更別企業 ～ BDF・B5混合軽油給油ステーションの整備 北海道開発技術センター ～ 啓発冊子・セミナーの開催 どんぐり保育所職員会しらかば会 ～ 使用済てんぷら油の回収拡大 NPO法人十勝エネルギーネットワーク ～ 上記の補完的な役割</p>
<p>【平成27年】 更別・十勝メガソーラー スピードウェイ発電開 始</p>	<p>十勝スピードウェイを運営するMSFが、遊休地を太陽光発電施設に活用する「十勝メガソーラースピードウェイ計画」を発表し、オリックスが遊休地を賃借して太陽光発電施設を建設。</p>
<p>【平成28年】 木質バイオマス資源の 地域内活用による森林 保全推進事業</p>	<p>更別村のサイクル観光の拠点となるサイクルショップ及び簡易宿泊施設に木質ペレットバイオマスボイラーを導入し、バイオマス資源の利用啓発を実施。</p>

【平成21年～】 太陽光発電補助	平成21年度より更別村太陽光発電システム導入補助金交付要綱を施行。 これまで太陽光発電システムの導入にあたり96件の補助(住宅85件、事業所11件)を実施。
【平成25～】 バイオディーゼル燃料 (B5)の公用車使用	下記公用車にバイオディーゼル燃料(B5)燃料を使用 平成25年度 ～ スクールバス1台 令和 2年度 ～ 給食センター配送車、ハイエース、ハイラックス(各1台)
教育関係	更別小学校では太陽光発電システムを導入したうえで、リアルタイムに発電量が表示されるパネルを設置。生徒に太陽光による発電の仕組み、自然エネルギー、環境問題への理解促進の一助とした。 また、各小学校における総合的な学習の場等を活用し、地球温暖化問題といった環境問題について学習する機会を設けた。

## ② 更別村の主な施設の自然エネルギーを活用した年間発電量等（目標達成状況）

令和元年度の太陽光による発電実績、バイオマス燃料活用実績の主なものは次のとおり。

主な施設における太陽光の年間発電量合計は 29,744,136kWh に及び、CO2 削減量に換算すると 9,354 t-co2 (年) となり、ビジョンの目標値 2,911t-co2 (年) を大きく上回る成果を上げています。

### ～太陽光発電(R1実績)～

施設名	実施主体	年間発電量
更別小学校	更別村	11,905 kWh
道の駅さらべつ	北海道開発局	6,901 kWh
更別浄化センター	更別村	64,796 kWh
福祉の里総合センター (老人保健福祉センター・国保診療所含む)	更別村	54,790 kWh
さらべつソーラーパーク	(株)ティー・ワイ	2,061,459 kWh
更別村内発電所3箇所	(株)ティー・ワイ、(株)山内組、合同会社とから興産	687,565 kWh
十勝スピードウェイ	OR更別・十勝メガソーラースピードウェイ(株)	26,856,720 kWh
合 計		29,744,136 kWh

### ～バイオマス利用(R1実績)～

項 目	実施主体	年間供給／消費量
バイオディーゼル燃料(B5)年間供給量	南十勝新エネ推進コンソーシアム	40,127 <sup>リットル</sup>
木質ペレット年間消費量	未利用バイオマス資源循環推進コンソーシアム	10,500 kg

## ③ 今後の村のエネルギー・環境問題等への取組方向

地球温暖化に象徴される環境破壊の影響が身近な生活の中で感じられる今日、更別村においても環境共生をふまえたまちづくりが引き続き重要な課題となっています。今後も、国や道のエネルギー・環境問題への対策を注視しつつ、必要に応じて連携しながら、更別村にとって有効な新エネルギーの活用を進めるとともに、二酸化炭素排出量削減に向け、村内の施設や住宅等への太陽発電システムの導入やバイオディーゼル燃料といったバイオマス資源の活用を進めていきます。

また、今後、更別村が行う事務及び事業、村施設等での二酸化炭素排出量削減に資する取り組みは、「第5期更別村地球温暖化対策実行計画（令和3年度～令和7年度）」にその内容・目標を定め、管理・推進していきます。

## ※参考 エネルギー政策を巡る国や道の最近の動き

### 【国の動き】

#### ・第5次エネルギー基本計画の策定

政府は、平成30年（2018年）7月にエネルギー基本計画を見直しています（第5次エネルギー基本計画）。この計画では、2030年の長期エネルギー需給見通し（2015年7月経済産業省決定。以下「エネルギーミックス」という。）の実現と2050年を見据えたシナリオの設計で構成されています。エネルギーミックスについては、2030年には再生可能エネルギーは22%~24%に拡大すると想定しています。この基本計画においても、再生可能エネルギーは、「2013年から導入を最大限加速してきており、引き続き積極的に推進していく。」としています。

### 【北海道の動き】

#### ・北海道省エネルギー・新エネルギー行動計画【第Ⅲ期】の策定

道では北海道省エネルギー・新エネルギー促進条例に基づき令和3年（2021年）～令和12年（2030年）までを期間とする行動計画【第Ⅲ期】を令和3年（2021年）4月に策定しています。「徹底した省エネ社会の実現」等を「目指す姿」として掲げ、①多様な地産地消の展開、②「エネルギー基地北海道」の確立に向けた事業環境整備、③省エネ促進・新エネの開発・導入と一体となった環境関連産業の振興等に取り組むこととしています。